

**VPN不要なモバイル接続で、  
セキュアで快適なテレワークを実現**

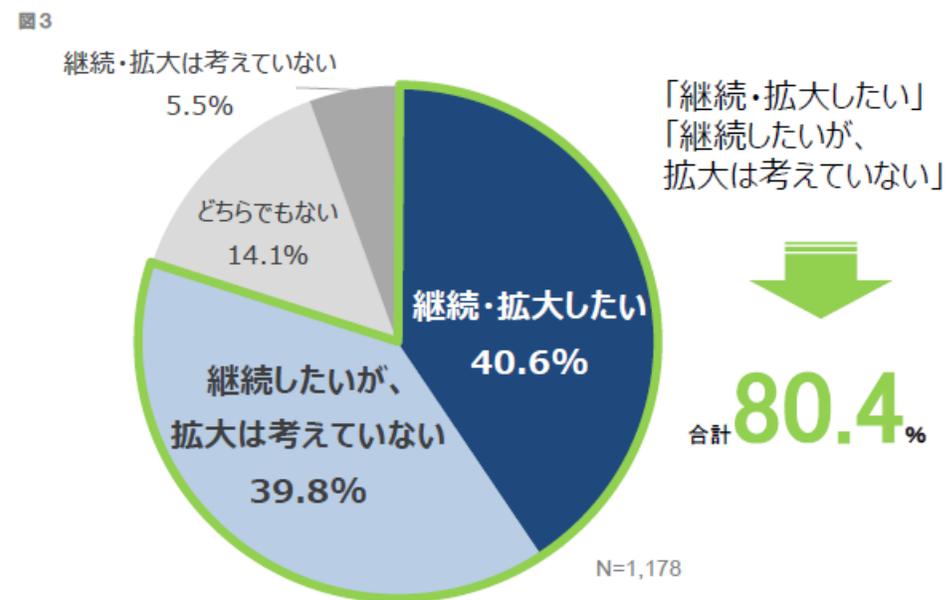
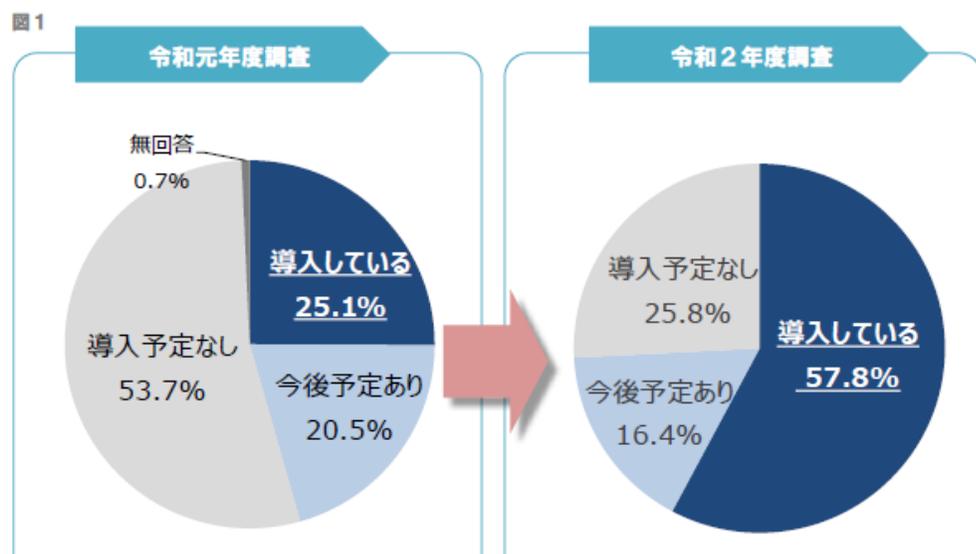
**～CTCビジネスモバイルのご紹介～**

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

佐藤 雅彦



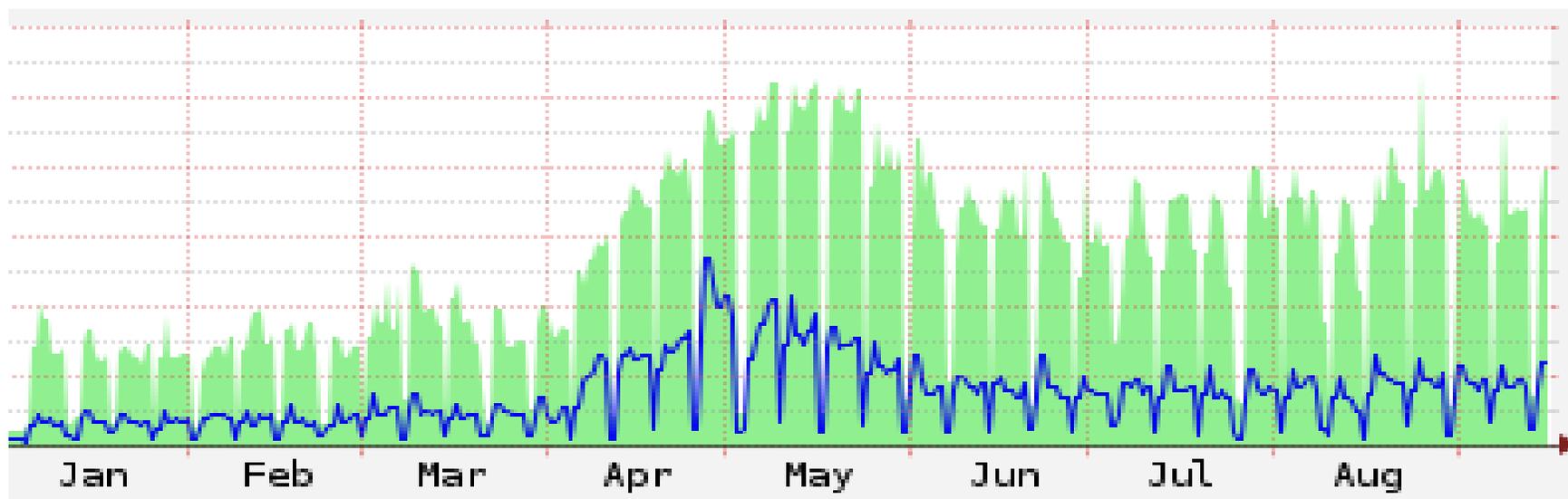
## 新型コロナウイルスの感染拡大により**テレワークを導入する企業が急増** **8割を超える企業**が今後もテレワークの継続を検討



出典：2020年9月14日東京都発表「テレワーク導入実態調査結果」  
調査日2020年6月30日

緊急事態宣言を受けテレワーク導入に踏み切った企業が多く、**トラフィックが急増**  
その後落ち着くも第2波により**高止まりが続く**

## 弊社モバイルサービストラフィック推移



緊急事態宣言

テレワークを導入を急ぐあまり**セキュリティ事故が発生**したケースが報告されている。

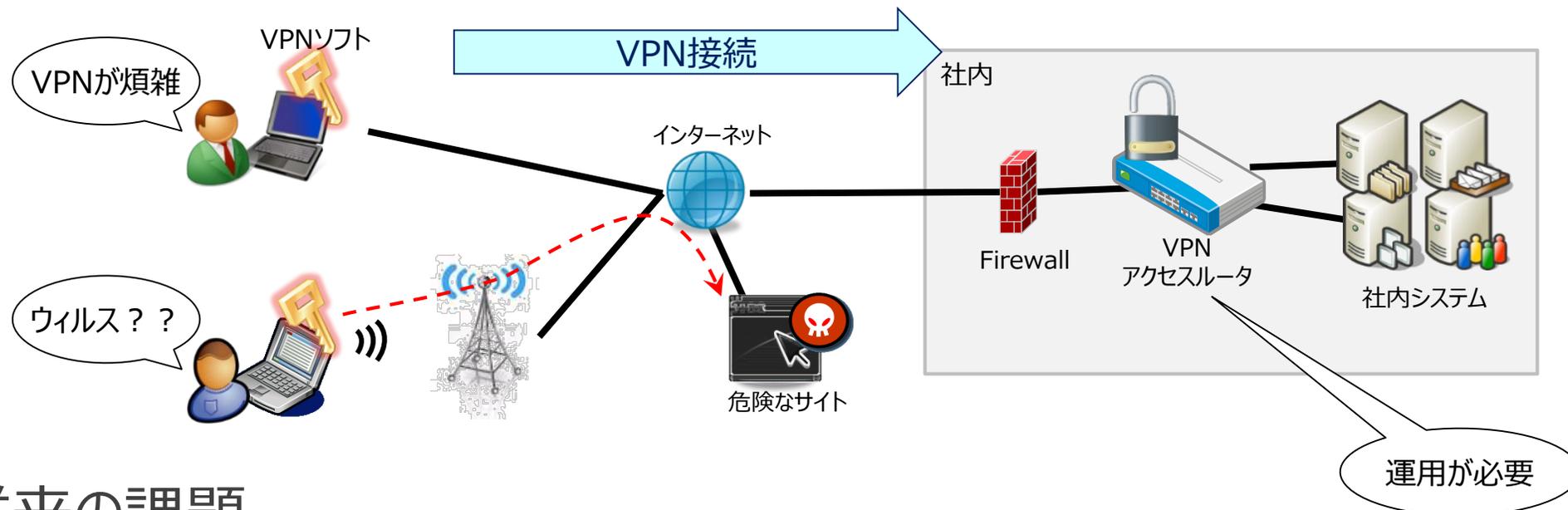
事故概要：内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が国内38社がVPNの脆弱性をついた攻撃を受け認証情報が流出していたと発表。

脆弱性の修正プログラムが公開されていたが、適用前の機器が狙われた。

※被害を受けた企業が公表した事実

テレワークの急拡大で現VPN機器だけでは対処しきれなくなり、急遽リプレイス前の旧VPN機器を稼働させて負荷分散を実施。この旧機器は最新の修正プログラムを適用しておらず、ユーザIDおよびパスワードが流出した。

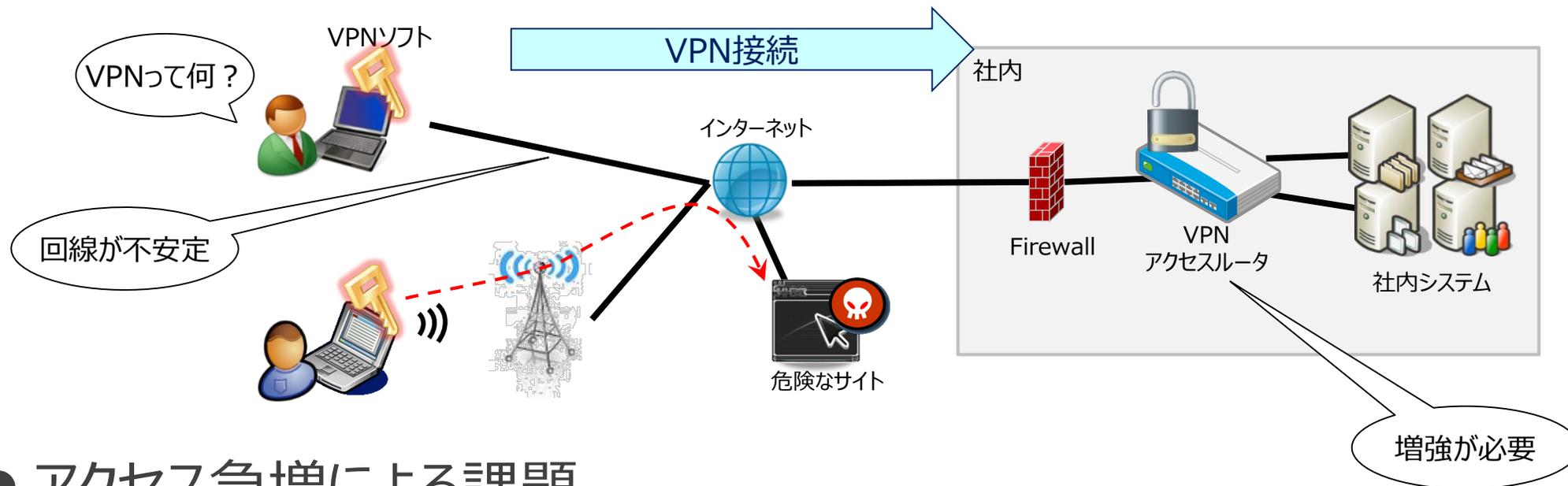
## 従来のインターネットVPNを用いたリモートアクセスには様々な課題



### ● 従来の課題

- 利用者は、アクセスする度に**毎回VPN接続の操作が必要**
- ユーザ数に応じて高性能な**VPNルータを準備・運用**する必要
- インターネットに繋がっているため、**有害サイトへアクセスする危険**

アクセスが急増したことでさらなる課題も発生



## ● アクセス急増による課題

- 初めてテレワークする人が**VPNのことがわからずアクセスできない**
- トラフィックが増え自宅の**インターネット回線が不安定**
- **VPNアクセスルータの性能が足りない**ことやユーザライセンス不足

テレワークを実施する上で

「**ネットワークが使えない = 仕事にならない**」ため、早急な解決が必要

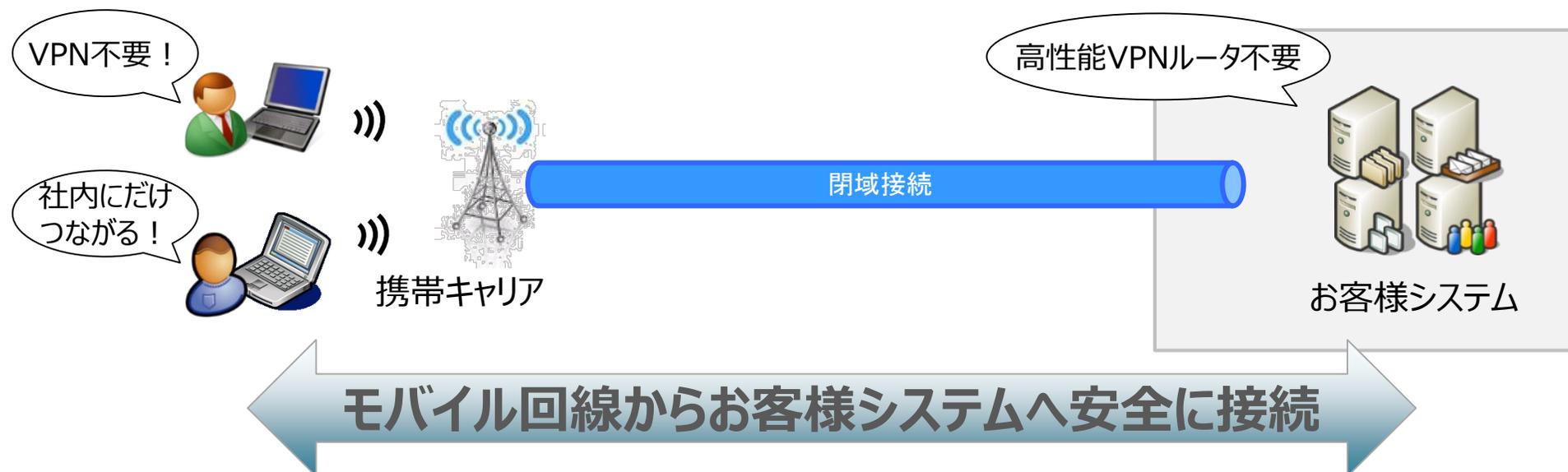
では解決策は？

- VPNアクセスルータを增強
- 従業員の自宅NW增強
- 従業員教育の実施(接続方法、セキュリティ教育)



**モバイル閉域接続を利用すれば解決**

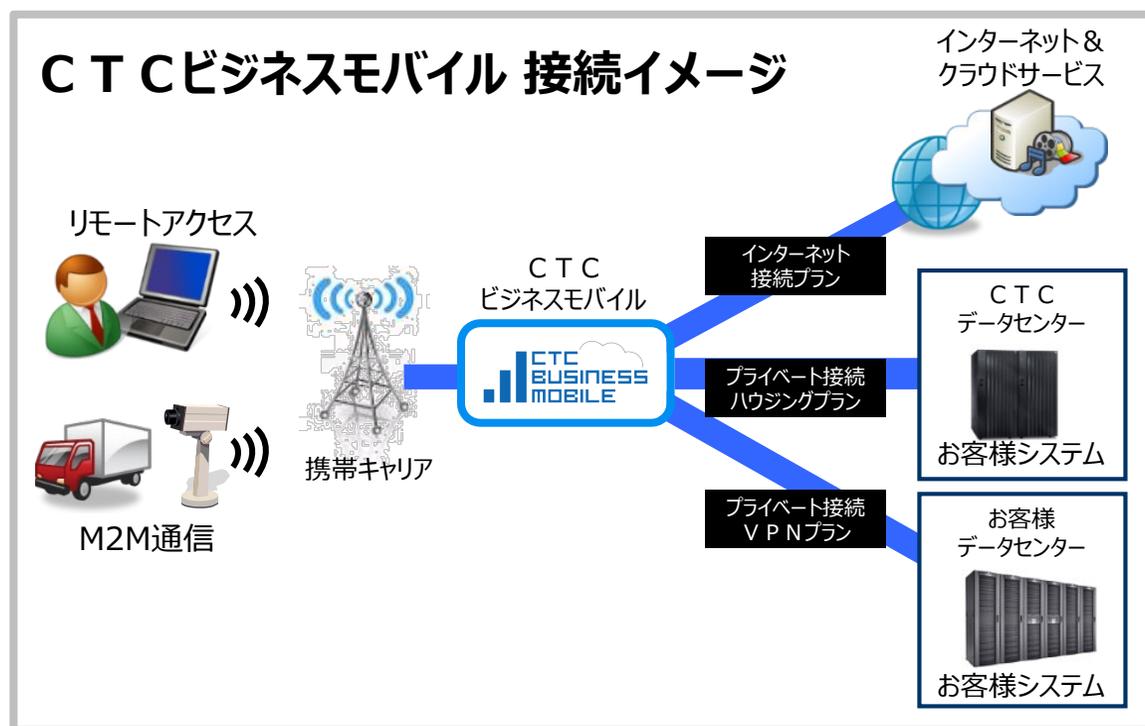
## モバイル端末とお客様システムとの安全な接続を実現



- 社内システムへのアクセスに、**利用者毎のVPNは不要**
- **高性能なVPNアクセスルータは不要**。運用負荷も軽減。
- モバイル回線から**インターネットへのアクセスは不可**。危険なアクセスは遮断。

社外からのリモートアクセス・安全なクラウド利用・M2M通信などの様々なモバイル通信ニーズに対して、柔軟なモバイルアクセスサービスを提供

## CTCビジネスモバイルの特長



### ① セキュアアクセス

- ・閉域接続でお客様社内システムへの安全なアクセスを実現。
- ・インターネット接続において、危険な通信を遮断出来る、接続先限定オプション。

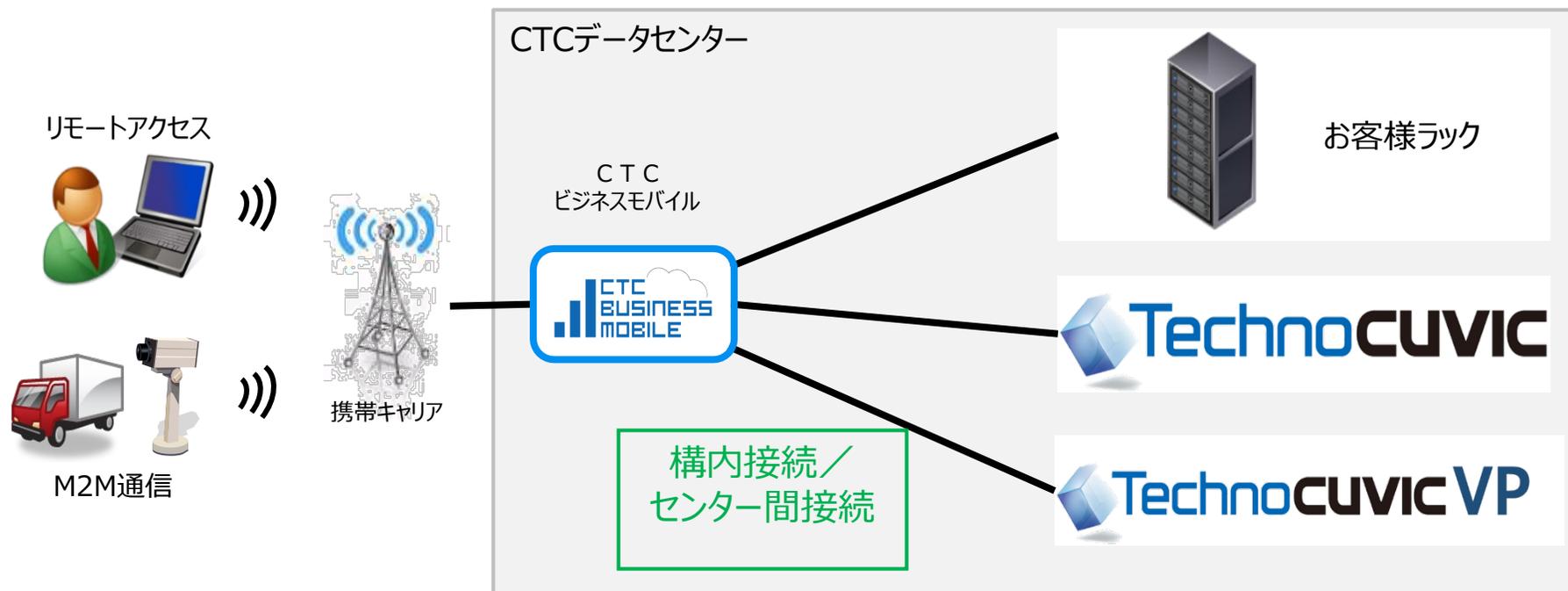
### ② 用途で選べる回線料金プラン

- ・フラットプラン
- ・**パケットシェアプラン**
- ・三段階定額プラン

### ③ M2M/IoT向けプランもご用意

- ・M2M向け低速低料金プラン
- ・**端末IPアドレス固定オプション**

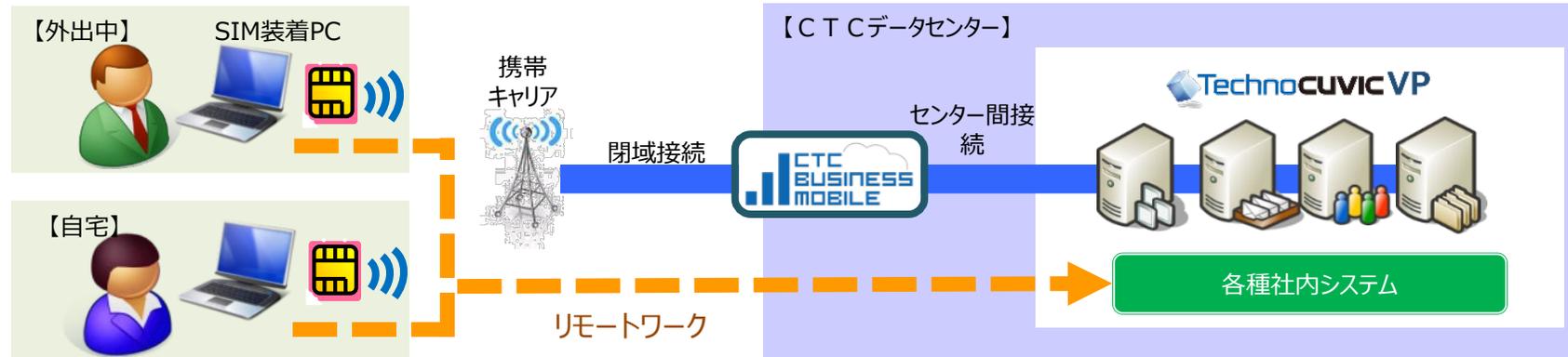
CTCビジネスモバイルの設備と、CTCデータセンターにあるお客様システム（ラック・クラウド）とを閉域接続し、端末からの安全なアクセスを実現



- 外部への固定回線は用意不要。トラフィックに応じてサービス側で増強。
- CTCデータセンターの配線はサービス側で手配。短納期・高速・安価に提供

## ご利用シーン

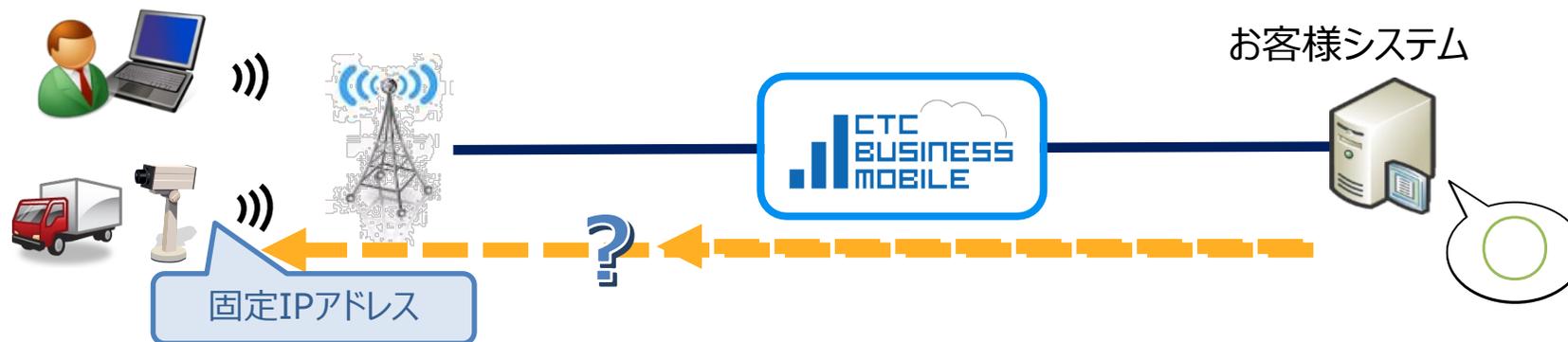
- 従業員に、SIMを装着したノートPCを配布。
- 外出先や自宅から、社内の各種システムにアクセス。
- **VPN不要。PCにログインするだけで、安全に社内ネットワークに接続。**



## CTCビジネスモバイル活用のポイント

- プライベート接続ハウジングプランを採用。CTC のクラウドサービスに構築された各種社内システムまで、SIM装着PCから閉域で安全に接続。
- **利用者毎に通信データ量はバラバラなため、パケットシェアプランを採用。**全体でのコスト削減を実現。

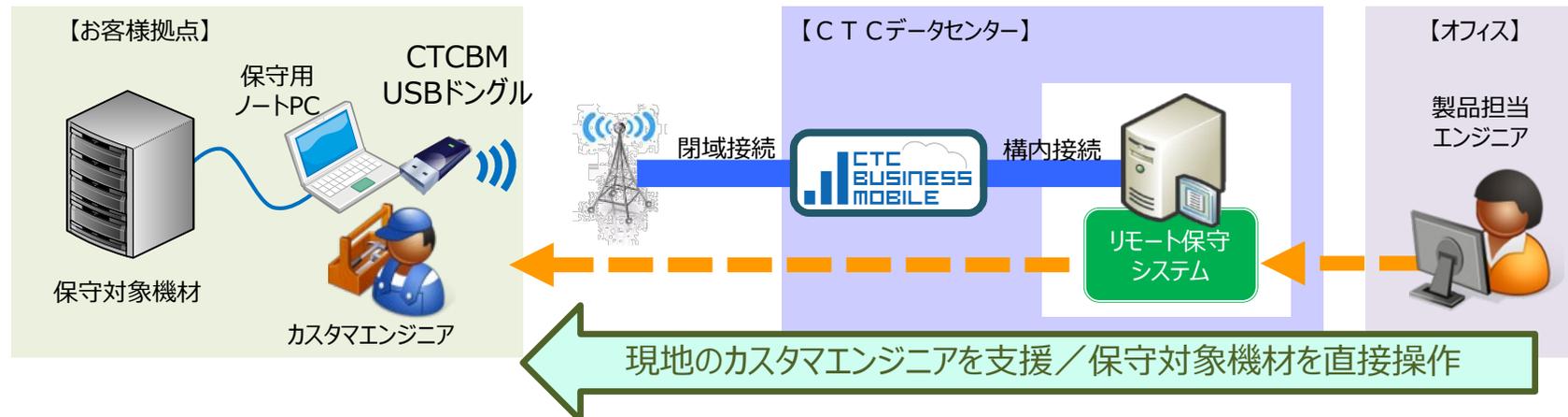
データセンター・クラウドからモバイル回線へのアクセスはM2M,IoTにおいて必須。  
また、これまでとは違った働き方への活用期待できる。



- プライベート接続のネットワークは…
  - IPアドレスの変換なし
  - シンプルなルーティング
  - フィルタリングなし
  - ◎ 双方向にIPの通信を開始可能
  - ◎ モバイル回線のIPアドレスを固定することが可能

## ご利用シーン

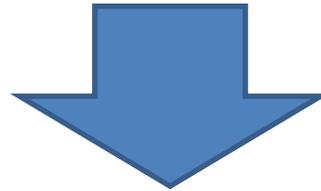
- 全国のお客様機材を、現地のカスタムエンジニアが保守を行うにあたり、製品担当エンジニアがリモートで支援を実施。
- 製品担当エンジニアがモバイル回線を通じて保守対象機材を直接操作することで正確かつ迅速な保守を提供。



## CTCビジネスモバイル活用のポイント

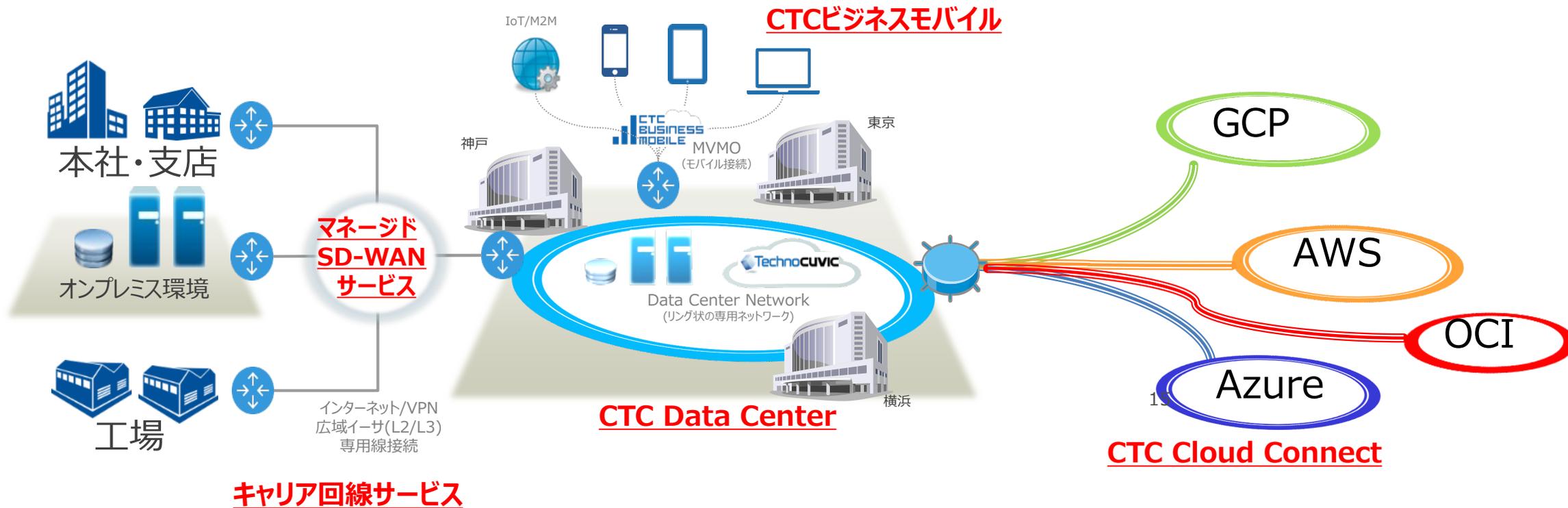
- 現地カスタムエンジニアが保守用PCとUSB Dongleを用いて、保守対象機材をモバイル回線に接続することで、安全な通信経路を、必要な時だけ構築。
- 端末IPアドレス固定オプションを採用。製品担当エンジニアが保守用PCおよび保守対象機材へ、容易にアクセス。

- コロナ終息は先が見えず、今後もテレワークは継続していく
- コロナが終息しても新しい働き方としてリモートアクセス需要は残る



モバイル閉域接続によるリモートアクセスは、  
今後も当たり前となるテレワークを簡単・安心・安全に実現できる解の1つ。  
コロナ対策の恒久対策としてご検討いただければ幸いです。

# CTCのDCサービスは繋ぐ、結ぶ、叶える、支える



ご清聴ありがとうございました

お問合せ先

E-mail : [dc-contact@ctc-g.co.jp](mailto:dc-contact@ctc-g.co.jp)